

生活時間を見直して、"免疫力アップ生活"にチェンジしよう!

~2020 年度ミッション No.2 「ささネットるーる」 バージョンアップチャレンジ~

新型コロナウィルス感染症が3度目の流行期を迎える中、かぜやインフルエンザも流行の本格期に入りました。感染症予防には、従来の「手洗い・マスク・3 密を避ける」など、ウィルスを体に入れない工夫だけでなく、ウィルスが体に入っても、ウィルスに負けない強い"党養力"をつける必要があります。免疫力を上げるには【十分な睡眠・栄養・運動・ノーストレス】が大切。「ささネットるーる」を守って健康的な生活を送っているとは思いますが、冬休み前のこの時期、メディアの使い方をチェックして、もう 1 段階バージョンアップをしていこう!今の自分の生活を見造して、それらを確保する時間を見つけて作りましょう。

まずは、自分が<u>「何」に「どれだけの時間使っているか」</u>を書き出しましょう。

年 組 番 氏名

248中国円グラフ

12 入 例

*振り返ってみて、今の自分の生活時間の中で、免疫生活に回せそうな時間はありますか?

私が守る「ささネットるーる5か条」

①「家族で決めた"ネットるーる"を守ろう!」



※今、ネットにつながる機器を 持っていない人も、「テレビ」 「ゲーム」などメディア全般で 考えよう

() **家のメディアルール** (この前決めたルールをここに書きましょう)

- ②「寝る1時間前」「ごはんの時」「勉強の時」は使わない!
- ③「悪ロ×」「危ないサイト×」「個人情報・写真×」
- ④「1日最大3時間まで(しか使わない)」
- ⑤「夜は遅くても 10 時まで(で終了する)」



*では、令和2年度に四日市市が作成した「生活リズムと情報モラル啓発リーフレット 早ね・早おき・朝ごはん + メディアの使い方チェックデー」を参考にした「ささネットチェックデー(メディアの使い方編)」に取り組んでみよう!

ささネットチェックデー(メディアの使い方編)」の取り組み例

1:まずは何より、決めた「ささネットるーる」を守る

3:パソコンやスマートフォン・ゲーム機の利用時間を減らして、 家族と過ごしたり、手伝いをする時間にする。

4:メディアを娯楽目的(楽しむ)だけでなく、学習に関係する ことを調べたり見たりして、内容を深めたりする。

5:「ノーメディアデー」を設定し、身体を動かしたり、読書を したりする時間にあてる。

6:メディアの使い方についてのルールを覚着す時間をつくる。

メディアとは、スマートフォン (携帯電話) やゲーム機・テレビ・パソコン・音楽プレーヤーなどの電子メディアです。 学習でのメディアの使用は、対象外ですが、長時間の使用は、目などに影響が大きくなるので、必要な時だけにしましょう。







「ささネットチェックテー(メディアの使い方編)」チャレンジシート

★チャレンジレベル★ その日の予定に合わせて決めていこう!

レベル4	(学習以外の目的で)メディアを使用しない。
レベル3	(学習以外の目的で)メディアの使用時間を30分以内とする。
レベル2	(学習以外の目的で)メディアの使用時間を1時間以内とする。
レベル1	(学習以外の目的で)メディアの使用時間を2時間以内とする。
レベルロ	(学習以外の目的で)メディアの使用時間を3時間以内とする。



※目や首、腕や脳など体や心などへの負担を減らすには、学習首節も含めてメディアの使用時間そのものを減らすことが、脱長途中の中学生には必要です。大切なのは、使い方! Let 's try!

자 日付	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8
チャレンジし	レベル	レベル	レベル	レベル	レベル	レベル	レベル	レベル
たレベル				[]				
 チャレンジ	できた	できた	できた	できた	できた	できた	できた	できた
### 結果	できなかった	できなかった	できなかった	できなかった	できなかった	できなかった	できなかった	できなかった
減らした時を何 に使いました か? (当てはまるも のに〇)	・睡眠 ・運動 ・読書 ・学家族 ・その他 (・睡動 ・読書 ・読書 ・字家 ・その他 (・睡 ・運動 ・読書 ・学家 ・その他 (・睡 ・運動 ・読書 ・学家 ・その他 (・睡 ・運動 ・読書 ・学家族 ・その他 (・睡眠 ・運動 ・読書 ・学習 ・家族 ・その他 (・睡眠 ・運動 ・読書 ・学習 ・家の他 (・睡眠 ・運動 ・読書 ・学習 ・家族 ・その他 (

※「家族」とは、家族と過ごす時間や風呂そうじ・犬の散歩・食事の準備など家族のために使った時間のことです。

「ささネットチェックデー(メディアの使い方編)」をやってみた感想を書きましょう。

・チャレンジは達成できましたか?(どちらかにO) ⇒ Oできた or ●できなかった

"できた"人は、「がんばったところ」など、"できなかった人"は「できなかった理由」も含めて書いてみよう。

